

# めぐみイエス・キリスト教会

2022年1月30日(日)第五主日礼拝  
週報「通算第593号」



## 2022年標題聖句

### 第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌222「罪の深みに」 p. 336

【交読文】 No.15詩篇第40篇 p. 890

【賛美Ⅱ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.20「神の国となる為に」

【聖書朗読】 マルコの福音書4章35節～41節(新約p. 73)

【礼拝説教】 《満天の星空(この方はどなたなのだろうか)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ●ポイント1.「ガリラヤ湖の嵐の預言」とは？

※詩篇107篇23節～30節「救済者なる神への感謝の詩」(旧約p.1049)

107:23 船に乗って海に出る者大海で商いする者

107:24 彼らは見た。主のみわざを深い海でその奇しいみわざを。

107:25 主が命じて激しい暴風を起こされると風が波を高くした。

107:26 彼らは天に上り深みに下りそのたましいはみじめにも溶け去った。

107:27 彼らは酔った人のようによろめき知恵はことごとくのみ込まれた。

107:28 この苦しみのときに彼らが主に向かって叫ぶと主は彼らを苦悩から導き出された。

107:29 主が嵐を鎮められると波は穏やかになった。

107:30 波が凪いだので彼らは喜んだ。主は彼らをその望む港に導かれた。

### ●ポイント2.「行ないの書」と「いのちの書」とは？

#### ※ヨハネの黙示録20章12節～15節「ヨハネの見た幻」 (新約p.516)

20:12 また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

20:13 海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

20:14 それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

20:15 いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

### ●ポイント3.「人の手の平ほどの小さな雲」とは？

#### ※第Ⅱ列王記18章43節～45節「三年ぶりの雨」 (旧約p.636)

18:43 彼は若い者に言った。「さあ、上って行って、海の方をよく見なさい。」若い者は上って、見たが、「何もありません」と言った。するとエリヤは「もう一度、上りなさい」と言って、それを七回繰り返した。

18:44 七回目に若い者は、「ご覧下さい。人の手のひらほどの小さな濃い雲が海から上っています」と言った。エリヤは言った。「上って行って、アハブに言いなさい。『大雨に閉じ込められないうちに、車を整えて下って行きなさい。』」

18:45 しばらくすると、空は濃い雲と風で暗くなり、やがて激しい大雨となった。アハブは車に乗って、イズレエルへ行った。

## ◎先週の礼拝メッセージの概要【イコニオンにおいて】

《今週から「使徒の働き」に戻ります。パウロとバルナバは、ピシディアのアンティオキアからイコニオンにやって来ました。イコニオンとは、小アジアのガラテヤ南部の高原にあった町のことで、パウロは後に何度か再訪します。ガラテヤ人への手紙は、この教会宛てであると言われていています。

さて、ここでも二人の伝道方法は変わりありません。かつて主イエス様がされたように、まず安息日にユダヤ人の会堂に行き、そこでメッセージを語るというやり方です。ここでも、信じる者と信じない者とに分けられることとなります。パウロとバルナバが語る言葉を信じる者とは、主イエスの言葉を信じる者であり、また信じない者とは、主の言葉を信じない者と言うこととなります。なぜ同じことが起こるのでしょうか。それは、信じようとさせない反霊的勢力(悪魔・悪霊)が存在するからです。

さて、パウロとバルナバの言葉を信じようとしなないユダヤ人たちは、異邦人を扇動して、二人に対して悪意を抱かせました。本来ならば、この時点において、二人は足のチリを落として出て行くのですが、今回は、あえて長く滞在したのです。二人は主によって大胆に語り、主は彼らの手によってしるしと不思議を行なわせ、その恵みの言葉を確かなものとされました。すると町の人々は二手に分かれ、一方はユダヤ人の側に、もう一方は使徒たちの側についたと言うのです。さらに信じようとしなない者たちは、指導者と一緒になり、二人を石打ちにしようと企てました。それ故、二人は、やむを得ず、イコニオンを脱出し、他の町へ行くこととなります。

さて、主イエスの言葉を信じる者と信じない者とは、突き詰めて見ますと、神の言葉を聞き従う者と聞き従わない者とに分かれることとなります。

主の兄弟ヤコブは、『み言葉を行なう人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってははいけません。』と勧めています。厳しい時代が続いています。しかし私たちは、今年も主イエスを信じ、そしてみ言葉に聞き従い、み言葉を実行して行く者で有りたいと願います。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、2月6日(日)です。通常通り教会にて行ないます。また聖書勉強会・祈り会は、2月2日(水)に各家庭にて行ないます。